

若者たちへ 佐々井秀嶺師との対話

インドに渡って
56年

傷まみれ、
泥まみれ、
糞まみれになって
民衆とともに生きてんだ



© eisukefukumochi

日時

2023年 6月24日(土)
13:30 ~ 16:30 (開場 12:00)

会場

佛教大学成徳常照館 (図書館) 常照ホール

内容

- ◆ 佐々井秀嶺師の講演
- ◆ 佐々井師との対話 (質疑応答)
- ◆ デジタルアーカイブの公開

主催：佛教大学社会学部

協力：一般社団法人南天会、B.R. アンバードカル及び
エンゲイジド・ブッディズム研究会

助成：トヨタ財団 2019 年度研究助成プログラム

(D19-R-0008「マイノリティとの異種協働の連帯に向けて」)

お問い合わせ：s-taiwa@bukkyo-u.ac.jp

参加無料

当日先着順

定員 330名

* 座席数に限りがございますので
予めご了承ください。



佛教大学
BUKKYO UNIVERSITY



公益財団法人

トヨタ財団

紹介

「不可触民の父」B. R. アンベードカル博士は 1956 年にインドのナーグプルで数十万人の元不可触民を導いて仏教へ集団改宗しました。1967 年にタイからインドに渡った佐々井秀嶺師はアンベードカル博士の遺志を引き継いで現地で不可触民解放運動の高名な指導者となった仏教の僧侶です。1935 年に岡山県で生まれた佐々井師は 1988 年にインド国籍を取得し 2004 年から 2006 年までインド政府マイノリティ委員会の仏教徒代表を務めました。2009 年には 44 年ぶりに日本を訪れました。2023 年現在もインド中央部ナーグプルの仏教寺院を拠点としてインド各地での改宗式や仏教復興に取り組んでいます。



内容

4 年ぶりの日本訪問となる今回は「若者たちへ」というタイトルで 50 年以上にわたりインド現地で差別を受ける人たちとともに生きてきた経験をみなさんに伝えます。佐々井師はこの経験を「傷まみれ、泥まみれ、糞まみれになって民衆とともに生きたんだ」と語っています。参加者と佐々井師との質疑応答（対話）、佐々井秀嶺デジタルアーカイブの公開、1960 年代から書き残している手記の展示、現地の写真や映像の公開も行います。



アクセス

駅名	路線	所要時間	備考
JR 京都駅	地下鉄 12分	10分	西賀茂車庫行
	北大路バス	10分	北1) 玄塚行
	北大路バス	10分	北2) 松ヶ崎行
阪急 大宮駅	6) (A3のりば) 玄塚行	40分	北本路
	205) (B3のりば) 橋環	20分	北本路
	206) (A3のりば) 橋環	20分	北本路
JR 地下鉄 二条駅	6) 玄塚行	15分	北本路
	46) 上賀茂神社行	15分	北本路
	206) 北大路/スターミナル行	15分	北本路
JR 円町駅	204) 北大路/スターミナル行	20分	北本路
	205) 北大路/スターミナル行	20分	北本路
京阪 出町柳駅	西賀茂車庫行	20分	北本路
	西賀茂車庫行	20分	北本路



◀ 会場は佛教大学紫野キャンパス（京都市北区紫野北花ノ坊町 96）の成徳常照館（図書館）にある常照ホールです。

佐々井秀嶺保存史料のデジタルアーカイブ化プロジェクトは JSPS 科研費 JP16H03533 および JP20H01401、稲盛財団 2019 年度稲盛研究助成（人文・社会科学系）、トヨタ財団 2019 年度研究助成プログラムの助成を受けてきました。